

三中だより

令和5年3月6日(月)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和4年度第13号 大田区中央4-12-8

学年末考査を終え、学校は一年間のまとめの時期となりました。校舎の窓の外では、梅の花が咲き誇っています。それは、春の訪れを楽しんでいるように感じられます。

普段は何げなく通り過ぎてても、花が咲くと、目に留まり、改めてここに梅の木があるのだと意識します。しかし、急に花が咲いたのではなく、この梅の木も一年間過ごしてきて今の開花があるのだと考えると、趣を感じます。

百人一首で紀貫之の読んだ歌に「人はいさ心も知らずふるさは 花ぞ昔の香に匂ひける」があります。これは「人の心は、変わってしまうものだが、梅の花は昔と同じ香りで、花を咲かせている。」という意味です。梅の花とともに、また春がやってきました。学校は、新年度にむけて卒業や進級という節目の時期です。生徒たちが、この節目の時期を通して、自己の成長を自覚し、さらに一回り大きく成長していくことを楽しみにしています。



スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	3/7(火)、3/14(火)
鳥海 真里	3/1(水)、3/8(水)、3/15(水)、3/22(水)
田中 典子	3/3(金)、3/10(金)、3/17(金)、3/24(金)

※大森三中 相談室直通

電話

(3773) 7831

3月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
					春季休業日		修了式(1・2)	大掃除		春分の日				第74回卒業証書授与式		卒業式予行 職員会議					避難訓練(津波)	中央委員会 16:00~	専門委員会	卒業遠足(3)	安全指導		土曜補習 6	職業人講話⑤⑥(1)		復習確認テスト(1・2)

3年生が中学校生活を振り返りました、その思いを紹介いたします。

部活動の取り組み

3年

僕は三年間卓球部に所属していました。体力は決してある方ではなかったけれど、クタクタになっても練習の最後はいつも笑っていました。それは同学年の仲間や先輩方が、手を差し伸べてくれていたからだと思います。

僕は、部活動はお互いを高めあう場だと思っています。最初から全てうまくできる人は絶対にいません。そして、一つの視点からではなく、仲間と助け合い、別の視点から見てみることで一歩一歩成長していくことができるのだと思います。そういったチームワークが部活動のすばらしさだと思います。面倒くさくて部活動をやめようと思うときがあるかもしれませんが、一度踏みとどまって頑張ってみてほしいです。そこでの成果の中で学んだことは、必ず自分の大きな力となるからです。一、二年生には、残りの部活動の時間で仲間とかけがえのない時を過ごし、その大切さを学んでほしいです。

「当たり前」の大切さ

3年

二年前の六月、私が三中の入学式に臨んだのは例年の二ヶ月後でした。やっと学校が始まり、とてもワクワクしていましたが、初めて会う友達はマスクで表情が分からず友達をつくれるかどうか不安なこともありました。また、私が一番つらかったのは学校行事を普通に行うことができなかつたことです。移動教室や職場体験学習を実際に経験することが叶わなかつたのです。当たり前にしてきたことが当たり前できなくなり、それまでがいかに幸せだったのかを考えるきっかけになりました。できることをできるときにやるのが、私たちの生活には、必要なのです。コロナの期間があったからこそ、今までの「当たり前」の大切さに気づくことができたので、この気持ちを忘れないようにしていきたいです。

高校受験を終えて

3年

私にとって、高校受験が終わるまでの数か月間は、とても辛い時期でした。だんだんと近づいてくる入学試験への焦りが高まる中、勉強を続けることが辛かったです。また、早めに受験が終わった人が出てくると、さらに焦ってしまうこともありました。点数が伸び悩むことや、不安なことなどが多く、もう諦めてしまいたいと思うときもありました。

このような辛いことはたくさんあったけれども、高校へ進学したいという気持ちと、周りの人々の支えのおかげでも最後までやり遂げることができました。その努力は、良い結果や得難い経験につながりました。受験は苦しく感じることも辛く感じることもあっても、決して諦めてはいけないと、今思います。諦めずに努力を続ければ、きっと良い結果が待っていると思います。また、その経験は、これからの自分のための力を与えてくれると思います。

修学旅行

3年

僕は、修学旅行を通じて二つの大切なことを学ぶことができました。

一つ目は協力して行動することの大切さです。修学旅行のほとんどが班のメンバーと行動しました。行動しているときに、班のメンバーとはぐれてしまうのではないかと、とても心配しました。しかし、はぐれることなく全員で協力することができたので、楽しく過ごすことができました。

二つ目は「ルールを守って楽しむことの大切さ」です。一年生と二年生の社会科見学ではルールを破ってしまう人もいたので、この問題点を繰り返さないよう意識をして、最高の修学旅行にしたいと思いました。そのためにルールを守るようにたくさんの人に呼びかけました。修学旅行当日では、全員がルールを守って楽しむことができたのでよかったです。

僕は、修学旅行でたくさんのことを学ぶことができたので、高校でも学んだことを生かそうと思います。下級生のみなさん、これからたくさん大変なことがあると思いますが、全員で協力して最高の学校生活が送れるよう頑張ってください。

3年間学級委員を務めて

3年

僕は、今まで学級委員を3年間努めてきました。何かの行事で仕事をするのが多かったのですが、そこにやりがいというものを感じることができました。もちろん行事以外にも、日々のクラスの状況をみたり、どこを改善すればよりよい学年・クラスになるのかも考えたりしていました。このように経験から振り返ってみたときに、本当にこの学年はいい学年だと思いました。特に、他人を思いやる気持ちというのが強いと思います。それは、運動会などでも感じました。「協力して」全員で1位をねらうクラスメートの姿、1つの目標に対してみんなで「協力して」物事に取り組む姿勢に感動し、このすばらしいみんなのがんばりを学級委員として接することができてとてもよかったです。そして、この仕事が僕の中学校生活をより充実したものにさせてくれたと感じます。ここで学んだことを忘れずに、将来に生かされるようにしていきたいです。